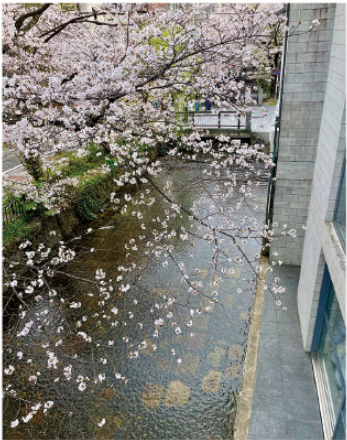




木屋町通り高瀬川は桜の名所。安藤忠雄設計のコンクリート打放しビルに似合



『京都人の密かな愉しみ Rouge-継承-』のロケ地雨宝院の枝垂れ桜はまだ蕾。



京都御苑の見事な枝垂れ桜を満喫するには最高の立地のNOKU京都はお勧め。



右頁／平野神社の桜花苑では60種400本の桜。夜景も見事。上／JR花園駅前とは思えない法金剛寺の桜は静かに楽しめる

言い訳でもある。京都御苑の近衛邸跡の枝垂れ桜に始まり、久我神社、法金剛寺、本隆寺、桜井公園、鴨川、知恩院、円山公園、等持院、平野神社、木屋町、六角堂と咲き始めから満開まで、桜の名所を巡ってきた。宿泊先は御所南の丸太町河原町のNOKU京都。モルジブやプーケットにも系列ホテルがあるシンガポールのホテルチェーンのような。そのせいか9割は海外客。地下鉄丸太町駅の出口4の隣で地の利は抜群。おすすめしたい早朝の京都御苑散策には絶好だ。

ただ、花見シーズンは、名所の桜は良いけれど人の多さには驚くばかり。京都御苑にできた笹屋伊織のカフェは満席で長蛇の列。午後に行つた虎屋茶寮は48組待ち。夕食時間までに入れないからと諦めた多くの人と同様に、和菓子を買って、ホテルでお茶することにした。ただ平野神社の桜花苑はいつからか有料になったみたいだが、眺めるだけでなく、400本の満開の桜の下を歩く気持ちよさは格別。キッチンカーもずらりと並び、花よりビールの方にもおすすめしたい。

暮らす旅 京都 真っ盛りの桜の下で

文・写真／松岡伸吾(暮らす旅舎)



この記事を読む人なら、おそらくNHKBSのドラマ『京都人の密かな愉しみ』を見たことがあると思う。自分もすべて見てきた大ファン。ドキュメンタリーとドラマを合わせた、源孝志氏の演出による京都の魅力満載の番組だ。年明けから春にかけてドラマ主体の新シリーズが放送されたので記憶に新しい。最初のシリーズは2015年に始まったが、実はその先駆的な番組が2008年に『京都・丸竹夷にない小路』が同じ演出家でつくられている。碁盤の目の街の奥にある路地をテーマに、ドラマ的な要素を加えたドキュメンタリーだった。実はこの番組がヒントになって、2013年に仲間と制作した書籍が『暮らす旅 京都 京のろおじ』だ。この連載の大元でもある。神社仏閣はもちろん桜や紅葉がなくても京都は楽しい。その極意とは暮らすように旅すること。京都の街と店と人を取材し、ガイド本と京都人の物語を組み合わせ一冊に作りあげた。前振りが長くなったが、今回は桜真っ盛りの京都に出かけてしまった